

院内感染対策だより

第15号 H24.6.20

感染対策情報の閲覧方法を知っていますか？

感染対策に関連した情報が院内 LAN にいくつもあります。皆さんは御存じでしょうか？今回はどこでどんな情報が確認できるかを紹介します。日々の感染症治療や感染拡大防止に役立ててください。

- 院内 LAN フォルダ「感染対策」
 - アンチバイオグラム、各種届出用紙
 - 感染症個室基準・隔離基準
- フォルダ「ict 関連」
 - MRSA 検出状況
- フォルダ「内科」
 - サンフォード感染症治療



アンチバイオグラム

当院で検出された細菌にどの抗菌薬が効果があるかを1年ごとにまとめたものです。

細菌統計表		2011年										
分離菌	(菌株数)											
	菌名	N	入院	外来	N	POG	ABPC	PIPC	CEZ	CTM	CMZ	FM
Esch. coli	270	170	100	270	----	73.0	80.4	88.5	99.9	99.6	99	
Esch. coli (ESBL)	14	9	5	14	----	0	0	0	0	100	1	
Kleb. pneumo. ssp. pneu.	167	112	55	167	----	7.8	81.4	100	99.4	100	99	
Kleb. pneumo. ssp. pneu (ESBL)	6	6	0	6	----	0	0	0	0	100	1	
Ser. marcescens	23	16	7	23	----	4.3	65.2	0	0	69.6	65	
Enterob. cloacae	26	17	9	26	----	19.2	84.6	3.8	19.2	7.7	15	

MRSA 検出状況

毎月 MRSA 検出患者を病棟別に一覧表にしたもの。検出材料・WBC・CRP 値や抗菌薬の投与状況がわかります。

5月分 MRSA 検出患者および抗MRSA薬使用患者												
MRSA 検出患者(入院)												
病棟	患者番号	CD	検出日	検体	WBC	CRP	入院日	入院時	新規	CDM	検出前の使用抗菌薬	
1	81	T38003	2	喀出痰	+	4	7700	7.35	1/8		3/10~	DAP
1			14	吸引痰	+	14	11300	7.28				ABPC/SE 5/8
												ACV 5/1
												DAP 5/1

感染症個室基準・隔離基準

感染症患者が発生した時の個室入室の判断や隔離時の判断基準が載っています。

感染防止に関連した個室隔離基準				
番号	防止策	耐性菌	条件	理由、備考
1.		MRSA	MRSA 肺炎・喀痰陽性で感染状態・感染物が周辺に飛び散る可能性がある時	接触感染防止より嚴重な隔離が必要 培養が続けて3回陰性(2日以上開を

感染症法届出用紙

厚労省設定した1類から5類までの感染症別届出用紙が保管されています。

細菌性赤痢発生届

都道府県知事(保健所設置市・特別区長) 殿

感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第12条第1項(同条第4項において準用する場合を含む。)の規定により、以下のとおり届け出ます。

医師の氏名 _____ 報告年月日 平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日
(署名又は記名押印のこと)

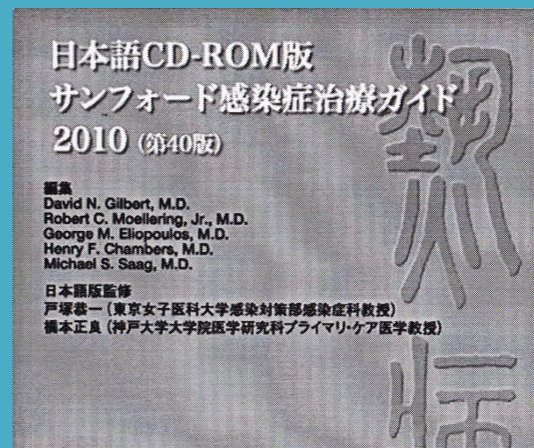
従事する病院・診療所の名称 _____ 印
上記病院・診療所の所在地(※) _____
電話番号(※) _____ (※病院・診療所に従事していない医師にあっては、その住所・電話番号を記載)

1 診断(確定)した者(死体)の類型 _____
2 患者(確定例)・無症状病原体保有者・感染症患者の死体・感染症患者の死体の種類 _____
3 性別 _____ 4 生年月日 _____ 5 診断時の年齢(歳) _____ 6 当該者職業 _____
7 当該者住所 _____ 性別 _____ 年齢(歳) _____ 8 当該者所在地 _____ 電話() _____

電子カルテの文書作成にも結核・レジオネラ・腸管出血性大腸菌・麻疹・風疹・梅毒・破傷風届出があります

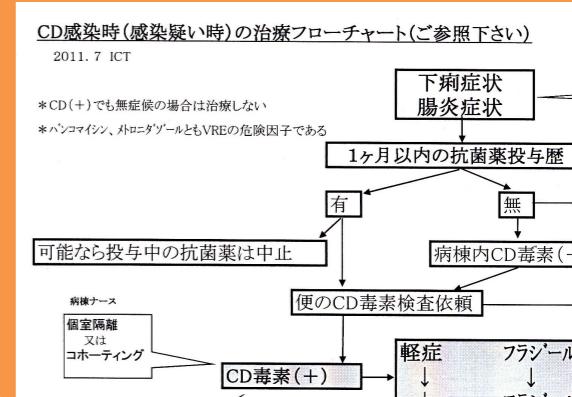
サンフォード感染症治療ガイド 2010

感染症治療のバイブルとも言えるサンフォードの日本語 CD-ROM 版。感染症との特徴的な症状、原因菌(通通常)、方例、治療法のほか、キーワード検索もできます



CD 感染疑いの対応フローチャート

下痢・腸炎症状などで CD (クロストリジウムデフィシル) 感染を疑った場合の対応チャートがられます。抗菌薬の投与歴、便の検査結果、症状の重に対応した、治療案、院内感染対策が載っています。



清掃現場にお邪魔します!

感染防止対策取り組み紹介 5階西病棟の清掃



昨年夏に MRSA の発生が多くみられたため、感染対策の一環として朝の申し送り前に **5分間クリーンタイム** を設けました。看護師は各自のパソコン台・パソコンキーボード・注射のミキシング台・テーブル・棚、助手さんは、準備室2、汚物処置室を担当し、拭き掃除を行っています。5分間と短い時間ですが、毎日続けることによって次のような効果がありました。

- ① きれいにするという意識づけができた。
- ② 汚れに気がついたら、自発的に掃除している。
- ③ ワゴン内の整理整頓、補充ができる。

その結果、MRSA の新規発生はこの2か月間ありません。

今後も小さなことを積み重ね成果を出せるようクリーンタイムを続けて行こうと思います。

